

アンケートへのご協力ありがとうございました

国民健康保険税、介護保険料の引き下げを 公共交通の整備、子育て支援の充実を



川西市政にとりこんでほしいこと **トップ10**

1位	国保・介護保険軽減	50%
2位	大型ごみ無料化	47%
3位	水道料金軽減	37%
4位	高齢者福祉充実	27%
5位	子育て支援	24%
6位	年金制度改善	20%
7位	自転車優先道路	20%
8位	雇用・時短・賃金	17%
9位	公共交通の改善	13%
10位	障がい者福祉充実	13%

回答者数984名・複数回答(8月6日時点)

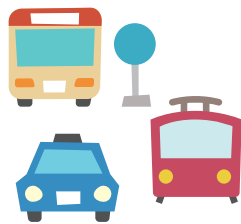
国保税は1万円の引き下げを

国民健康保険税が高すぎます。1世帯年間1万円を引き下げます。くらしの実態に応じて、減免制度を拡充し、宝塚市のように全額免除制度もつくりたい。

高齢者交通費補助復活を



猪名川町はコミュニティバス、宝塚市はタクシー利用券交付、伊丹市は市バス利用での高齢者支援を行っています。川西市の高齢者交通費補助を復活、公共交通網の抜本的改善を行います。



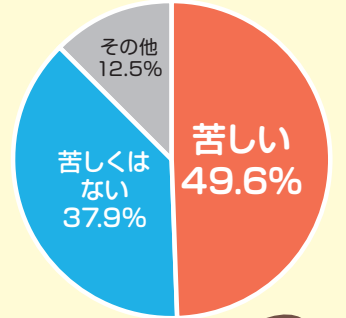
「買い物・通院」困難者をなくす必要があります

Q. あなたのくらしはいかがですか

くらしが大変 生活が苦しい



アンケートでは、49.6%が生活が苦しいと答えています。その原因は低賃金、年金の減少、消費税や医療費の負担です。それなのに、川西市政は、公共料金が高く、高齢者交通費補助の廃止など、くらしの実態を踏まえないものになっています。



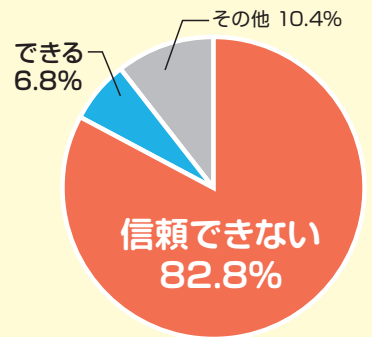
Q. 安倍政治を信頼できますか

安倍政治は 信頼できない



安倍政治は、森友問題、加計問題、自衛隊日報隠し、西日本豪雨災害の最中に宴会をやったり、国会ではカジノ法案を優先するなど、国民の信頼を完全に失っています。

この悪政に対する審判を川西から下し、市政をくらしを守る防波堤にしていきたいと思います。



市政のどこに問題があるのか

安倍政治いいなり 住民の声を聞かない

川西市は、安倍政治いいなりで、要支援介護サービスの保険はずし、保育所、幼稚園の廃止、市民体育館やキセラホールのPFIによる民営化、川西病院の指定管理化とベッド削減、中学校給食のセンター化などをすすめています。

これに反対する住民の声は一切無視、市長による説明会はおざなりで、多数の署名も無視する冷たい市政になっています。

無視された住民署名の数々

市民が集めた要求署名は、大型ごみ有料化反対5442筆、中学校給食を自校調理方式で実施6400筆、松風幼稚園を廃園にしないで8885筆、市民病院構想案の白紙撤回15058筆にもなりますが、市長が直接受け取ることはなく、全部無視しています。

住民本位であたたかい市政を **日本共産党** が全力で

川西民報 2018年8月号

日本共産党川西市委員会の活動をお知らせします。
〈発行〉日本共産党川西市委員会
川西市平野2丁目1-3 TEL:072-792-2164



黒田みち
市会議員



北野のり子
市会議員



吉岡けんじ
川西市まちづくり対策委員長

こどもから高齢者まで みんなが輝く川西を日本共産党

子育て・教育

Q. 子育て・教育で充実してほしいことは

中学校給食実現	30.5%
いじめをなくす	17.5%
待機児童解消	13.3%
こども医療費無料化	11.6%
保育料軽減	11.6%

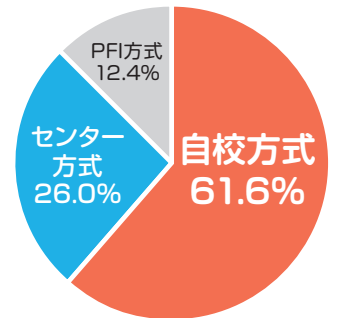


中学校給食

自校直営が早く安い

2016年度に明峰中をモデル校に、自校調理方式で先行実施の予定でした。ところが、突然センター方式へ方針転換し、久代旧中池を予定地として調査したものの面積不足のうえ、建設予算が80億円にもなることから断念。今度は、川西南中学校第二グラウンドにPFI方式でセンター建設可能性調査をしています。

共産党は自校調理方式の方が、早く、安く、安全にできると要求しています。



中学校給食の実施方法
自校方式が一番

若者

Q. 若者政策について改善を求める施策は

働く場確保、就労援助	50.0%
給付型奨学金	29.3%
若者家賃補助	15.9%



待機児童解消

認可保育所を増やそう

待機児童解消は、認可保育所を増やして行うべきです。それなのに、市は次々と保育所廃止をすすめています。

雇用総合相談窓口、返済不要の奨学金も

正規雇用が当たり前の社会をつくり、ブラック企業を規制する雇用総合相談窓口を市役所に設置します。高すぎる教育費を軽減させ、返済不要の奨学金制度を復活します。

高齢者

Q. 介護や高齢障がい者福祉について改善を求める施策は

介護保険料軽減	26.9%
高齢者交通改善	22.4%
特養、介護施設増	19.5%
介護サービス改善	13.3%



「買い物・通院」困難者をなくします

川西市は地域によっては高齢化率が40%を超えています。高低差が大きいまちの構造が、高齢者の移動困難地域をつくっています。高齢者おでかけ促進事業を復活するとともに、JR、阪急、能勢電のバリアフリー化をすすめ、市内網の目の公共交通整備を行い、「買い物・通院」困難者をなくします。

川西病院は市直営のままです存続充実します



南部に分院を整備、市全体の地域医療を守ります

川西病院は市の中核医療機関として北部で存続します。院内に2次救急センターを設置して猪名川町、豊能町、能勢町にも協力をもとめます。

南部(キセラ予定地)には、分院をつくり診療科目や入院機能をそなえ、財政規模は市民の医療ニーズと市の財政力をふまえたものにします。ふたつの病院には、市内各所から通院バスを運行します。

開発から
くらし優先へ
日本共産党が全力で

市民の要求は切実で、待ったなしのものです。一方で、市の財政は悪化しています。これは、キセラ開発などの開発と公共事業優先の財政運営をしてきたからです。

くらし優先の市政へ、財政の使い方を根本的に変える必要があります。

- 子どもの医療費、中学校卒業まで無料に
- 公立幼稚園の3歳児保育・預かり保育・給食の実施
- 小学校統合中止
- 中学校へバスで通う子ども達に交通費補助
- 能勢電鉄鼓滝駅に待合室設置
- 住宅リフォーム助成制度で地元業者の仕事を増やす



市会議員

北野のり子

憲法変えて
戦争する国に
する安倍政治は
許さない

